

令和元年(1～12月)の救急出場件数等について

1 救急出場件数及び搬送人員

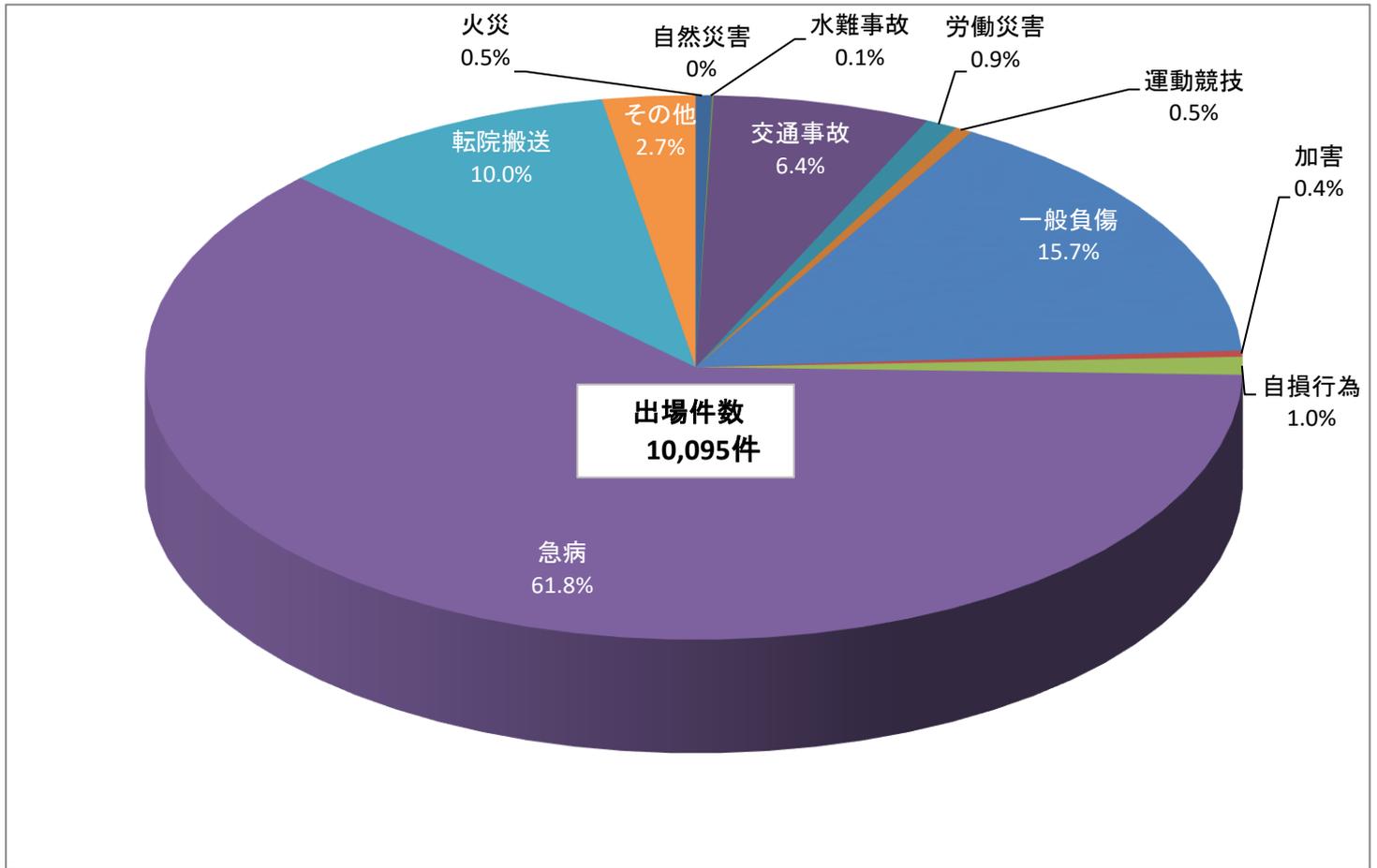
期間	出場件数			搬送人員		
	合計	宇部市	山陽小野田市	合計	宇部市	山陽小野田市
平成30年	10,140件	7,234件	2,906件	7,998人	5,665人	2,333人
令和元年	10,095件	7,182件	2,913件	8,083人	5,750人	2,333人
増減	-45件	-52件	7件	85人	85人	0人

- ・救急件数については、宇部市が52件減少、山陽小野田市では7件増加し、全体で45件減少しました。
- ・搬送人員については、宇部市が85人増加、山陽小野田市では昨年と同数、全体で85人増加しました。

2 事故種別出場件数・搬送人員

	平成30年			令和元年			増減		
	合計	宇部市	山陽小野田市	合計	宇部市	山陽小野田市	合計	宇部市	山陽小野田市
合計	10,140件	7,234件	2,906件	10,095件	7,182件	2,913件	-45件	-52件	7件
	7,998人	5,665人	2,333人	8,083人	5,750人	2,333人	85人	85人	0人
火災	40件	31件	9件	48件	34件	14件	8件	3件	5件
	12人	11人	1人	14人	10人	4人	2人	-1人	3人
自然災害	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
水難事故	2件	2件	0件	4件	3件	1件	2件	1件	1件
	1人	1人	0人	1人	1人	0人	0人	0人	0人
交通事故	718件	542件	176件	646件	468件	178件	-72件	-74件	2件
	522人	385人	137人	452人	320人	132人	-70人	-65人	-5人
労働災害	82件	57件	25件	94件	59件	35件	12件	2件	10件
	78人	53人	25人	88人	56人	32人	10人	3人	7人
運動競技	59件	31件	28件	52件	20件	32件	-7件	-11件	4件
	57人	28人	29人	48人	19人	29人	-9人	-9人	0人
一般負傷	1,546件	1,134件	412件	1,581件	1,147件	434件	35件	13件	22件
	1,224人	913人	311人	1,277人	921人	356人	53人	8人	45人
加害	53件	40件	13件	37件	28件	9件	-16件	-12件	-4件
	23人	20人	3人	23人	17人	6人	0人	-3人	3人
自損行為	91件	71件	20件	107件	74件	33件	16件	3件	13件
	49人	37人	12人	66人	46人	20人	17人	9人	8人
急病	6,303件	4,463件	1,840件	6,238件	4,484件	1,754件	-65件	21件	-86件
	5,088人	3,578人	1,510人	5,108人	3,695人	1,413人	20人	117人	-97人
転院搬送	946件	639件	307件	1,012件	670件	342件	66件	31件	35件
	942人	637人	305人	1,006人	665人	341人	64人	28人	36人
その他	300件	224件	76件	276件	195件	81件	-24件	-29件	5件
	2人	2人	0人	0人	0人	0人	-2人	-2人	0人

令和元年(1~12月)の救急出場件数(グラフ)



・事故種別ごとによる出場件数で最も多い「急病」は6,238件で、全体の61.8%を占め、次いで「一般負傷」が1,581件で15.7%、「転院搬送」が1,012件で10.0%、「交通事故」が646件で6.4%となっており、平成30年と同様の順位となっています。

また、平成30年の出場件数と比較すると、「交通事故」、「運動競技」、「加害」、「急病」、「その他」は減少していますが、それ以外の事故種別については増加しています。

3 今後の課題

・令和元年の救急出場件数も、1万件を上回りましたが、平成30年より45件減少しています。

全国的に高齢化の一層の進展により、救急需要は、さらに高まる可能性があります。

今後、増加傾向にある救急出場に対して、効率よく対応していくために、引き続き、救急車適正利用の普及啓発に取組み、救命率の向上を図ることが課題となります。